

第74回全日本都道府県対抗剣道優勝大会富山県選考会の開催について

標記大会を下記のとおり開催しますので、所属会員に趣旨を周知徹底され、多数の参加が得られるよう選手の申込等にご配慮をお願い致します。

記

1 趣旨

(一財)富山県剣道連盟が開催する、全日本都道府県対抗剣道優勝大会富山県選考会を通じて、剣道技能の向上と剣道の普及発展を図ると共に全日本都道府県対抗剣道優勝大会に送り出し、優秀な成績を収めることにある。

2 期日 令和8年 2月15日（日） 8時30分 開場
9時30分 開会式

3 会場 新湊アイシン軽金属スポーツセンター剣道場
〒934-0039 富山県射水市久々湊467

県剣連会員である
ためには、富山市
剣道連盟会員であ
ることが前提です

4 参加資格

(1) 原則 (一財) 富山県剣道連盟の登録会員であること。また、各都道府県で実施する予選会への出場は1ヶ所のみとする。ただし、大学生の場合、予選会へ出場できる都道府県は、大学生個人が登録している剣道連盟または出身高校のある剣道連盟のいずれか1ヶ所とする。

(2) 出場資格・区分

先鋒 高校生

次鋒 大学生（高校3年生で大学進学が確定した者については出場を認める）

五将 年齢18歳以上35歳未満の者、警察職員・教職員・高校生・大学生を除く

中堅 教職員の者、年齢に制限なし

三将 警察職員の者、年齢に制限なし

副将 35歳以上の者、警察職員・教職員を除く

大将 50歳以上、剣道教士七段以上の者

(3) 年齢基準は、本大会(全国大会)前日の4月28日とする。

(4) 職業資格の基準、高校生、大学生の資格基準は大会当日とする。

(5) 中学・高校の非常勤講師については、教職員枠で出場のこと。

(6) 職業の移動・変更等によって、大会当日に職業資格が該当しなくなった場合は出場できなくなるので留意のこと。

5 試合の種別

- (1) 次鋒から大将まで、各年齢・職業資格ごとに個人試合を行う。
- (2) 先鋒（高校生）については、県高体連がその取決めに従って（一財）富山県剣道連盟まで選手を推薦する。

6 試合方法

4名以上 の場合はトーナメント方式、3名の場合はリーグ戦とする。

7 試合及び審判

- (1) 全日本剣道連盟剣道試合・審判規則と同細則による。

(2) 試合時間

トーナメント方式、リーグ戦とも、4分間3本勝負とする。勝敗の決しない場合は延長戦を行い、先に一本取った者を勝ちとする。なお、延長に入ってからの試合時間は3分区切りで勝敗が決するまで継続する。

8 表彰 10名以下の場合は、優勝のみ表彰する。

参加人数が、11名～20名の場合、優勝・第2位を表彰する。

21名以上の場合は、優勝・第2位・第3位を表彰する。

9 参加申込み

~~加盟団体で取りまとめの上、Eメールにて添付Excelファイルで以下までお申込みください。~~

申込先 (一財)富山県剣道連盟 大会部 武波一昭

~~ichizai.tomikenren.moushikomi@gmail.com~~

締切 令和8年1月30日（金） 必着厳守

10 安全対策

試合実施中に事故が発生した場合は、医師または看護師により応急処置を講じ、病院等で治療を受けられるように手配する。この場合の治療費は本人が負担する。

11 剣道用具の取扱について

本予選会における、剣道用具の取扱については、安全性・公平性の観点から、以下のとおりとする。

(1) 竹刀については次の事項を遵守すること

●竹刀の長さ（全長・先革長）、重さ、太さ（先革先端大変直徑値および先端より8cmのちくとう部対角直徑値）は、表1、表2および図のとおりとする。

●ピース（四つ割り竹）の合わせに大きな隙間のあるものや安全性を著しく損なう加工、形状の変更したものの使用は認めない。

出場を希望される方は、富山市剣道連盟へメールにて申込んでください。

申込みアドレス org@tymcity-kendo.com

申込期間 令和8年1月17日（土）～令和8年1月23日（金）

誠に申し訳ありませんが、上記以外は、受け付けることができません。

(2) 小手については次の事項を遵守すること

- 小手は、こぶしと前腕（肘から手首の最長部）の 1/2 以上を保護し、安全性を保つため小手頭部および小手ぶとん部は十分な打突の衝撃緩衝能力がある。
- 小手ぶとんのえぐり（クリ）の深さについては小手ぶとん最長部と最短部の長さの差が 2.5cm 以内である。

(3) 面については次の事項を遵守すること

- 面ぶとんは安全性を保つため、肩関節を保護する長さがあり、十分な打突の衝撃緩衝能力があるものとする。

(4) 剣道着については次の事項を遵守すること

- 剣道着の袖は、安全性を保つため、肘関節を保護する長さを確保すること。
(構えたときに肘関節が隠れること)

表1 一般・大学生の竹刀の長さ、太さ、重さ

長さ (全長)	重さ	太さ	
		先端部最小直径	ちくとう部最小直径
120 センチメートル以下	510 グラム以上	26 ミリメートル以上	21 ミリメートル以上

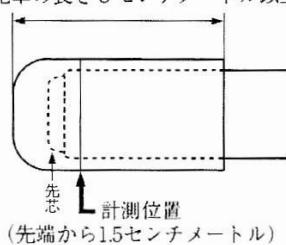
表2 二刀の場合の竹刀の長さ、重さ、太さ

	長さ (全長)	重さ	太さ	
			先端部最小直径	ちくとう部最小直径
大刀	114 センチメートル以下	440 グラム以上	25 ミリメートル以上	20 ミリメートル以上
小刀	62 センチメートル以下	280～300 グラム	24 ミリメートル以上	19 ミリメートル以上

図 竹刀の先革長、先革先端部最小直径値、ちくとう直径値の計測方法

<竹刀の先革長、先端部最小直径値の計測方法>

先革の長さ 5 センチメートル以上

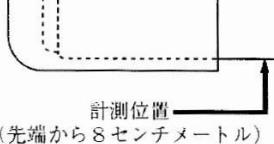


先端
計測位置
(先端から1.5センチメートル)

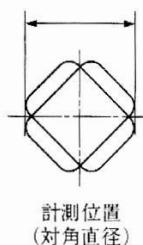


計測位置
(対辺直径)

<ちくとうの最小直径値の計測方法>



計測位置
(先端から8センチメートル)



計測位置
(対角直径)

12 注意事項 以下に該当する場合は参加を控えること。

- (1) 体調がよくない場合、体調が普段と異なる場合
- (2) 発熱、咳、咽頭痛などの症状がある場合
- (3) 同居家族や身近な知人に感染症が疑われる者がいる場合も慎重に判断する
- (4) 基礎疾患がある者はあらかじめ主治医の了解を得ること

※基礎疾患がある者とは、「糖尿病、心不全、慢性閉塞性肺疾患（COPD）、透析を受けている方、免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている方など」をいう

13 その他

- (1) 個人試合結果については、全日本都道府県対抗剣道優勝大会出場選手の選考資料とし、大会終了後、選考会議を行う。
- (2) 大会写真などを HP、X、報道機関等へ公表させていただく場合がありますのでご了承ください。
- (3) 剣道具の垂中央に、黒又は紺色に白抜きの布製の名札を必ず付けること。
- (4) 面マスク又はシールド(口元を覆うもの)の着用をすること。
- (5) 第 74 回 全日本都道府県対抗剣道優勝大会について
期日：令和 8 年 4 月 29 日（祝）（予定）
会場：和歌山県（予定）
- (6) 大会当日にプログラムは配布しません。大会の 3 日前をめどに県連 HP に掲載します。また、当日は受付などに、スマートフォンからプログラムをダウンロードできる QR コードを設置します。
※審判員・役員用のプログラムは別途ご用意します。